

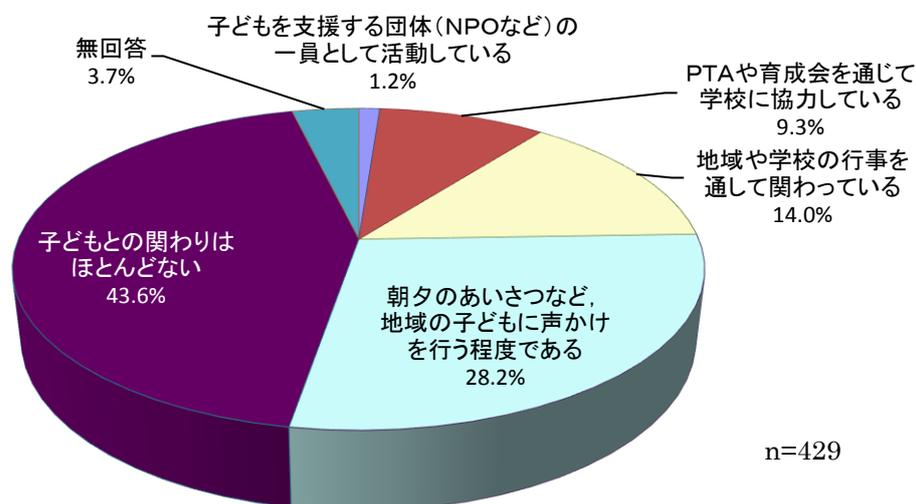
15. 社会総ぐるみによる人づくりについて

(1) 子どもとの関わり

◇ 「子どもとの関わりはほとんどない」が4割半ば

問47	現在, どのような形で子どもと関わっていますか。	(○は1つ)
		n=429
1	子どもを支援する団体(NPOなど)の一員として活動している	1.2%
2	PTAや育成会を通じて学校に協力している	9.3%
3	地域や学校の行事を通して関わっている	14.0%
4	朝夕のあいさつなど, 地域の子どもの声かけを行う程度である	28.2%
5	子どもとの関わりはほとんどない	43.6%
	(無回答)	3.7%

<図IV-15-1>全体



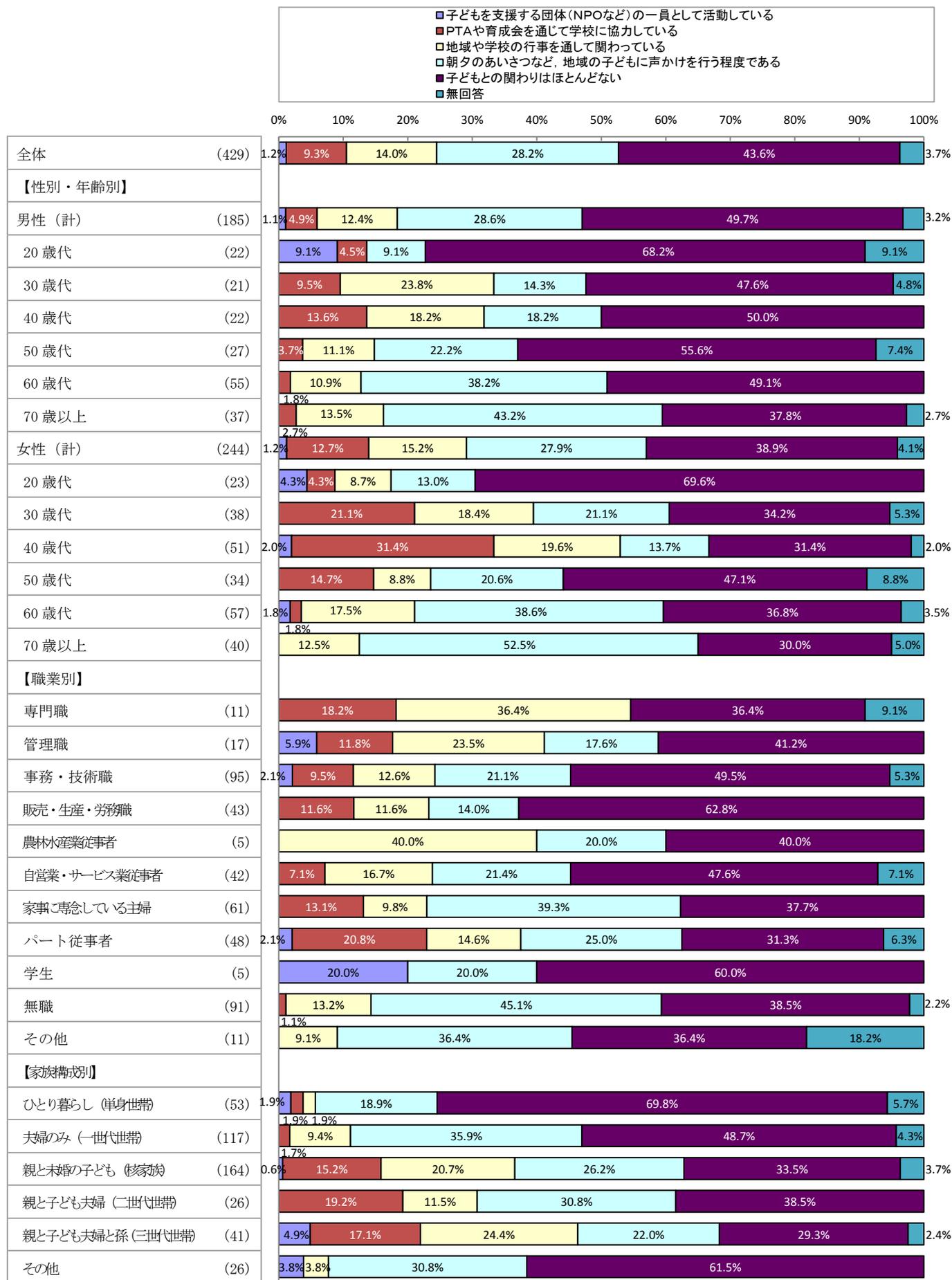
子どもとの関わりについては、「子どもとの関わりはほとんどない」が43.6%で最も高く、次いで「朝夕のあいさつなど、地域の子どもの声かけを行う程度である」が28.2%であった。(図IV-15-1)

性別・年齢別でみると、「子どもとの関わりはほとんどない」は<女性/20歳代>が69.6%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が68.2%、<男性/50歳代>が55.6%であった。「朝夕のあいさつなど、地域の子どもの声かけを行う程度である」は<女性/70歳以上>が52.5%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が43.2%、<女性/60歳代>が38.6%であった。(図IV-15-2)

職業別でみると、「子どもとの関わりはほとんどない」は<販売・生産・労務職>が62.8%で最も高く、次いで<学生>が60.0%であった。「朝夕のあいさつなど、地域の子どもの声かけを行う程度である」は<無職>が45.1%で最も高かった。(図IV-15-2)

家族構成別でみると、「子どもとの関わりはほとんどない」は<ひとり暮らし(単身世帯)>が69.8%で最も高かった。「朝夕のあいさつなど、地域の子どもの声かけを行う程度である」は<夫婦のみ(一世帯世帯)>が35.9%で最も高かった。(図IV-15-2)

<図IV-15-2>性別・年齢別/職業別/家族構成別

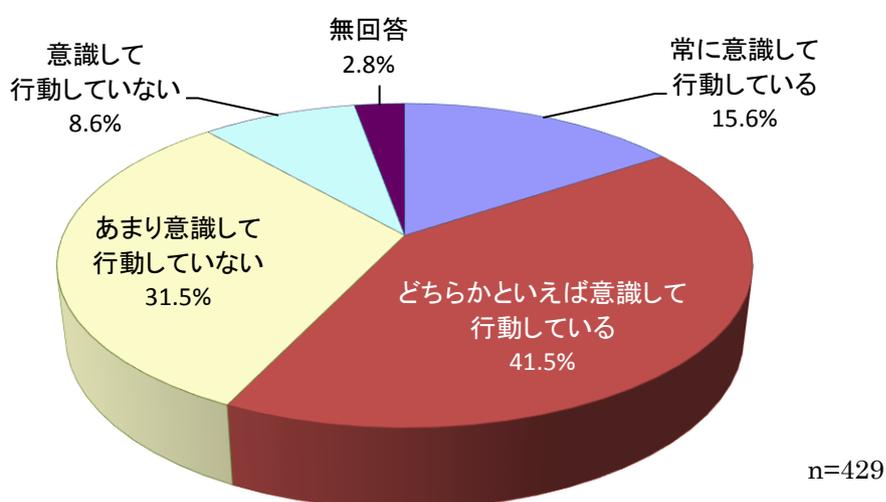


(2) 子どもの手本となる行動意識

◇「どちらかといえば意識して行動している」が4割強

問48	本市では、「育もう 地域の愛で 子どもの未来」を合言葉に、大人が子どもの手本となり、社会総ぐるみで取り組む人づくりを推進しています。あなたは、自分の行動が子どもの行動の手本となることを日ごろから意識していますか。	(○は1つ) n=429
1	常に意識して行動している	15.6%
2	どちらかといえば意識して行動している	41.5%
3	あまり意識して行動していない	31.5%
4	意識して行動していない	8.6%
	(無回答)	2.8%

<図IV-15-3>全体



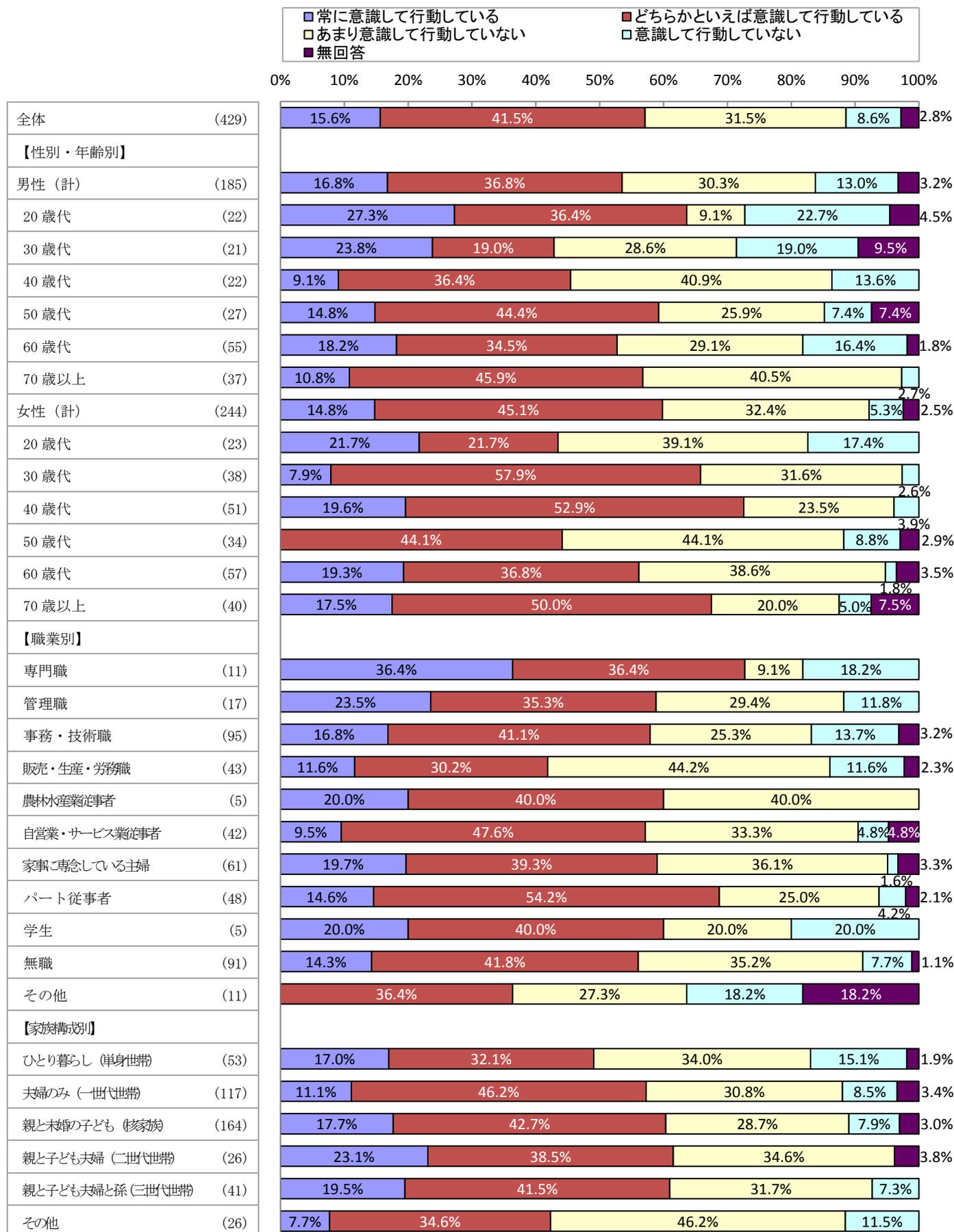
子どもの手本となる行動意識については、「どちらかといえば意識して行動している」が41.5%で最も高く、次いで「あまり意識して行動していない」が31.5%であった。(図IV-15-3)

性別・年齢別でみると、「どちらかといえば意識して行動している」は<女性/30歳代>が57.9%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が52.9%、<女性/70歳以上>が50.0%であった。「あまり意識して行動していない」は<女性/50歳代>が44.1%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が40.9%、<男性/70歳以上>が40.5%であった。(図IV-15-4)

職業別でみると、「どちらかといえば意識して行動している」は<パート従事者>が54.2%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が47.6%であった。「あまり意識して行動していない」は<販売・生産・労務職>が44.2%で最も高く、次いで<農林水産業従事者>が40.0%であった。(図IV-15-4)

家族構成別でみると、「どちらかといえば意識して行動している」は<夫婦のみ(一世代世帯)>が46.2%で最も高かった。「あまり意識して行動していない」では、全体との差はほとんどみられなかった。(図IV-15-4)

<図IV-15-4>性別・年齢別/職業別/家族構成別

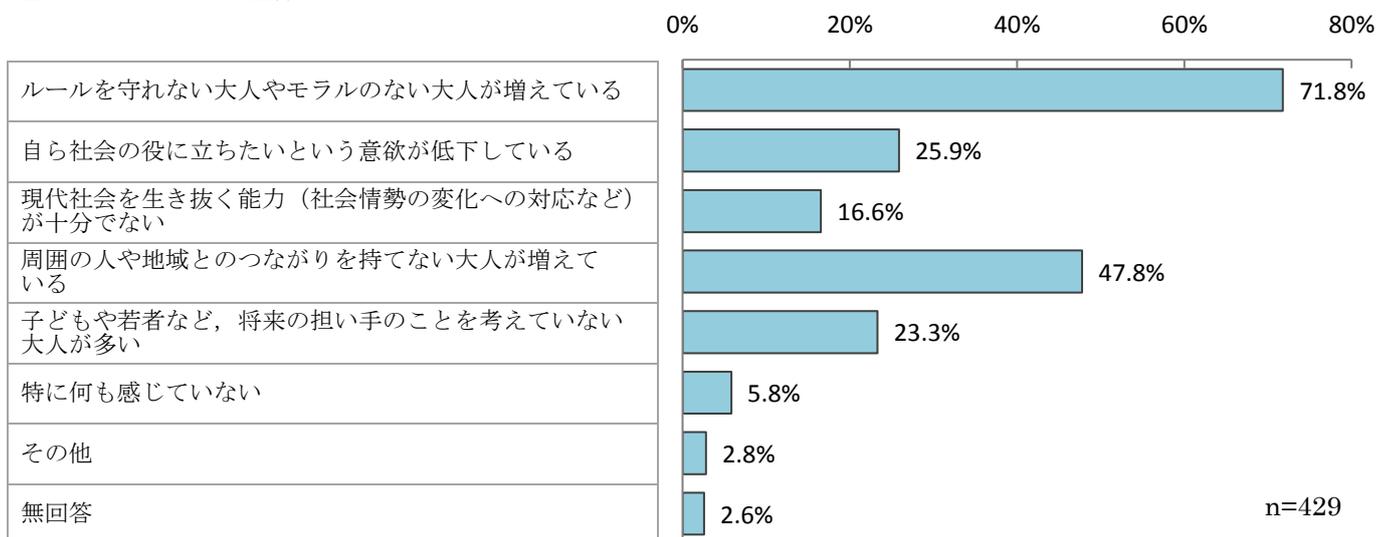


(3) 子どもの手本となる大人への感じ方

◇ 「ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている」が7割強

問49	子どもの手本となるべき大人について、何か問題を感じていますか。	(〇はいくつでも)
		n=429
1	ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている	71.8%
2	自ら社会の役に立ちたいという意欲が低下している	25.9%
3	現代社会を生き抜く能力（社会情勢の変化への対応など）が十分でない	16.6%
4	周囲の人や地域とのつながりを持ってない大人が増えている	47.8%
5	子どもや若者など、将来の担い手のことを考えていない大人が多い	23.3%
6	特に何も感じていない	5.8%
7	その他	2.8%
	(無回答)	2.6%

<図IV-15-5>全体



子どもの手本となる大人への感じ方については、「ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている」が71.8%で最も高く、次いで「周囲の人や地域とのつながりを持ってない大人が増えている」が47.8%であった。(図IV-15-5)

性別・年齢別でみると、「ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている」は<女性/30歳代>の81.6%が最も高く、次いで<男性/30歳代>の81.0%であった。「周囲の人や地域とのつながりを持ってない大人が増えている」は<男性/50歳代>の63.0%が最も高く、次いで<男性/60歳代>の56.4%であった。(図IV-15-6)

職業別でみると、「ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている」は<専門職>が81.8%で最も高く、次いで<学生>の80.0%であった。「周囲の人や地域とのつながりを持ってない大人が増えている」は<農林水産業従事者><学生>が80.0%で最も高かった。(図IV-15-6)

家族構成別でみると、全体との差はほとんどみられなかった。(図IV-15-6)

<図IV-15-6>性別・年齢別/職業別/家族構成別

- ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている
- 現代社会を生き抜く能力(社会情勢の変化への対応など)が十分でない
- 子どもや若者など、将来の担い手のことを考えていない大人が多い
- その他
- 自ら社会の役に立ちたいという意欲が低下している
- 周囲の人や地域とのつながりを持っていない大人が増えている
- 特に何も感じていない
- 無回答

